

富士通 SPARC Enterprise M3000
Solaris 10 における
「UDA-160e-QU(SAS)」
動作検証報告書

2010 年 7 月 2 日

株式会社ユニテックス

ソフトウェア開発部

文書番号 : UNT-00018

Rev	更新日	変更概要
A	2010年7月2日	新規作成

1 概要

富士通 SPARC Enterprise M3000、Solaris 10 環境において、
自社製品 UDA-160e-QU(SAS)が正常に動作することを確認する。

2 検証場所

株式会社ユニテックス 町田事業所 2F

3 検証期間

2010年6月23日～7月2日

4 検証環境

【使用サーバー】

表1 使用サーバー

コンピュータ	SPARC Enterprise M3000
CPU	SPARC64-VII 2.75GHz
メモリ	16GB
OS	Solaris 10
SAS HBA	SPARC Enterprise M3000 標準

【使用製品】

表2 使用製品

型名	構成品	
	分類	名称
UDA-160e-QU(SAS)	ドライブ本体	DAT-160e
MM-10	SAS ケーブル	1M miniSAS-miniSAS ケーブル

【使用メディア】

表3 使用メディア

メーカー	メディア種	容量	圧縮時容量	型番
maxell	DAT-160	80GB	160GB	DAT160 XJ B

【使用データ】

- 5Gbyte×4files

【構成図】

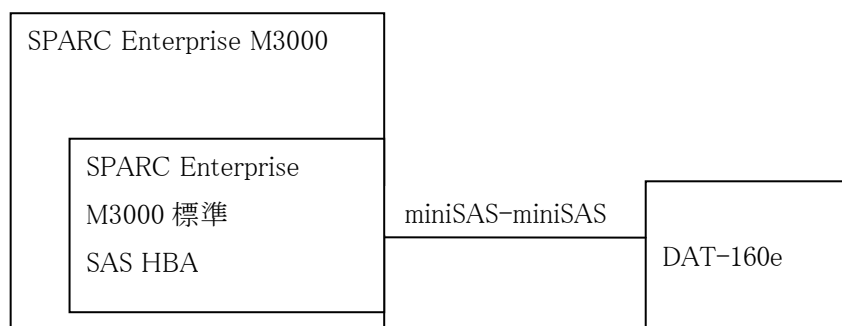


図 1 UDA-160e-QU(SAS)検証環境

5 検証内容

Solaris 標準 tar コマンドにて、下記の検証を行う。

- DAT-160 への書込み、および書込み速度計測(ブロック化係数 20 及び 128)
- DAT-160 からの読込み、および読込み速度計測(ブロック化係数 20 及び 128)

なお、書き込み、読込み、ともに非圧縮で行う。

6 検証結果

富士通 SPARC Enterprise M3000、Solaris 10 環境において、UDA-160e-QU(SAS)は正常に動作した。検証結果を表 4 に示す。また、表 5 に書き込み、表 6 に読込みの速度計測結果を示す。

表 4 動作検証結果

検証項目	動作
DAT-160 への書込み	正常
DAT-160 からの読込み	正常

表 5 DAT-160 書き込み速度

装置	メディア	データ	ブロック化 係数	ブロック長	書き込み時間	転送速度 (Kbyte/s)
UDA-160e -QU(SAS)	DAT-160	5Gbyte × 4files	20(標準)	10Kbyte	54 分 58 秒	6,359
			128(最大)	64Kbyte	54 分 29 秒	6,415

表 6 DAT-160 読み込み速度

装置	メディア	データ	ブロック化 係数	ブロック長	読み込み時間	転送速度 (Kbyte/s)
UDA-160e -QU(SAS)	DAT-160	5Gbyte × 4files	20(標準)	10Kbyte	54 分 52 秒	6,370
			128(最大)	64Kbyte	54 分 51 秒	6,372

7 結論

富士通 SPARC Enterprise M3000、Solaris 10 環境において、UDA-160e-QU(SAS)は正常に動作する。

8 お問い合わせ先

株式会社ユニテックス

Tel : 042-710-4630

Fax : 042-710-4660

E-Mail : sales@unitex.co.jp

Web サイト : www.unitex.co.jp

－以上－